

<会員による自著紹介> * 紹介者である会員

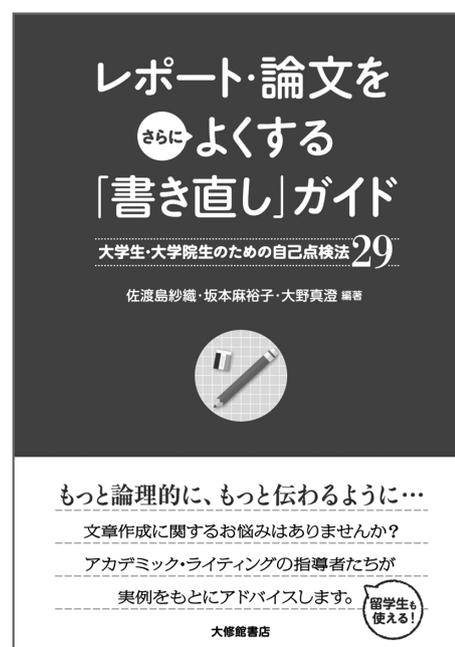
レポート・論文をさらによくする「書き直し」ガイド —大学生・大学院生のための自己点検法 29—

佐渡島紗織¹⁾*・坂本麻裕子¹⁾・
大野真澄²⁾ (編著)

¹⁾ 早稲田大学・²⁾ 慶應義塾大学

大修館書店 (2015 年発行)

定価 1,728 円 (税込)



本書は、学術的文章の書き直し方法を指南するものである。レポートや論文の初稿の書き方を教える書物が多く出版されているなか、本書の特徴は、《ひとまず書いた文章》を書き直す方法が学べる点にある。《ひとまず書いた文章》を、書き手自身が29の観点から見直し改良していく力をつけることを目指す。

章は、書き手の悩みに基づいて構成されている。そして、各章では、一つの《ひとまず書いた文章》が、複数の点検法により書き直された例が示されている。同一の文章が、それぞれの点検法により異なる文章に生まれ変わって掲載されている点が明快で面白い。例えば、次のように構成されている。

第1章 内容の方向性が決まらない

修正方法その1 ブレーン・ストーミングをやり直す

修正方法その2 問いと答えを作る

修正方法その3 目的を書く

第7章 構成が未整理な気がする

修正方法その1 [序論][本論][結論]の構成で書く

修正方法その2 パラグラフ・ライティングで書く

修正方法その3 パワー・ライティングで書く

本書は、早稲田大学のアカデミック・ライティング・プログラムで文章指導を行ってきた院生たちが中心となって執筆した。レポートや論文を執筆している学生たちの悩みに接してきた現場のまなざしが生かされている「書き直し」ガイドである。